

=目次=

1. 重大事故情報 = 11件 (7月16日~7月22日分)
 - (1) 乗合バスの車内事故
 - (2) 貸切バスが横転した事故
 - (3) 乗合バスが交差点で歩行者を撥ねた事故
 - (4) タクシー運転者の酒気帯び運転による事故
 - (5) タクシーが交差点で乗用車と衝突した事故
 - (6) タクシーが電柱に衝突した事故
 - (7) タクシー運転者が救護義務違反の疑い
 - (8) トラックが乗用車と衝突した事故
 - (9) トラック運転者の酒気帯び運転による事故1
 - (10) トラック運転者の酒気帯び運転による事故2
 - (11) トラックがマイクロバスと衝突した事故

【1. 重大事故情報 = 11件】(7月16日~7月22日分)

(1) 乗合バスの車内事故

7月16日午前9時25分頃、北海道において、乗合バスが乗客30名を乗せ運行中、道路左側から車両が当該乗合バスの前方に進入してきたため、急ブレーキをかけたところ、当該バスの車内の通路に立っていた女性の乗客(77才)が、同じく立っていた他の乗客とぶつかった。

この事故により、ぶつかった女性の乗客が、右膝を骨折する重傷を負った。

事故当時、当該バスの運転者は、負傷した女性の乗客に謝罪のうえ、ケガの状況を確認したところ、「大丈夫」とのことで降車したため、そのまま運行を継続した。

翌日、この女性の乗客は、病院で検査を受けた結果、右膝の骨折と診断され、入院した模様。

(2) 貸切バスが横転した事故

7月17日午前10時55分頃、北海道の片側一車線の道路において、貸切バスが乗客45名を乗せ緩い右カーブを走行中、対向からオートバイがセンターラインを越えて来たため、これを避けようとハンドルを左にきったが、当該オートバイと衝突し道路左側の約4メートル下の草地に転落・横転し、逆さまの状態となった。

この事故により、当該貸切バスの乗客2名が重傷、38名が軽傷を負ったほか、オートバイの運転者が重傷を負った。

(3) 乗合バスが交差点で歩行者を撥ねた事故

7月20日午前11時35分頃、神奈川県において、乗合バスが乗客8名を乗せT字路交差点を通過しようとしたところ、道路左側より横断歩道を横断してきた歩行者（男性：80才）を撥ねた。

この事故により、撥ねられた歩行者は病院に搬送されたが、その後死亡が確認された。

事故現場は、信号機のない交差点で、事故当時、当該バスの運転者は、横断歩道を横断してきた歩行者に気付くのが遅れた模様。

（4）タクシー運転者の酒気帯び運転による事故

7月13日午後11時30分頃、広島県において、タクシーが空車にて雨の中を走行していたところ、当該タクシーのタイヤがスリップしたことによりガードレールに衝突する自損事故を起こした。

この事故による負傷者はなかった。

事故後、警察が当該タクシーの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.20ミリigramのアルコールが検出された。

当該タクシーの運転者は、乗務中の同日午後10時頃、コンビニで500mlの缶酎ハイを購入して飲んだ後、3件の実車を行った模様。

（5）タクシーが交差点で乗用車と衝突した事故

7月20日午後4時15分頃、愛知県の交差点において、青信号で直進したタクシーと、赤信号を無視して右から進入してきた乗用車が衝突した。

この事故により、タクシーの乗客1名が重傷、もう1人の乗客は軽傷を負った。タクシーの運転者は頭を打ち一晩入院したが21日の朝に退院した。

乗用車の相手方の運転者と同乗の子供1名に負傷はなかった。

（6）タクシーが電柱に衝突した事故

7月21日午前1時20分頃、東京都において、個人タクシーが乗客1名を乗せ運行中、道路左側の電柱に衝突した。

この事故により、当該タクシーの運転者（男性：63才）が死亡し、乗客1名が軽傷を負った。

警察によると、当該タクシーの運転者は、衝突直前においてもブレーキを踏んでいなかった模様であることから、居眠り運転か、健康に起因するものか等を含め現在捜査中。

（7）タクシー運転者が救護義務違反の疑い

7月22日午後11時35分頃、東京都において、タクシーが空車にて運行中、歩行者を撥ねた。

この事故により、撥ねられた歩行者が死亡した。

当該タクシーの運転者は、事故後、負傷者の救護措置をすることなく現場から立ち去ったが、目撃情報等により、警察が不審なタクシーを発見し、当該タ

クシーの運転者に事情を聞いたところ、事故を起こしたことを認めた。

(8)トラックが乗用車と衝突した事故

7月14日午後4時50分頃、大阪府の高速道路(片側2車線)において、大型トラックが走行中、追い越し車線から当該大型トラックを追い越そうとして中央分離帯に衝突した車両が当該大型トラックの前に出てきたためこれを避けきれず衝突したため停車していたところ、後続の乗用車2台がこれを避けようとして乗用車同士が接触し、このうちの1台が当該トラックの後部に衝突した。

この事故により、当該トラックに衝突した乗用車の運転者(男性)と生後3ヶ月の男児が死亡し、男性の妻が重傷を負った。

事故当時、雨が降っていた。

(9)トラック運転者の酒気帯び運転による事故1

7月16日午後10時55分頃、群馬県において、トラックが、道路左側の民家のブロック塀に衝突した後、民家の納屋に突入した。

この事故により、当該トラックの助手席に乗っていた同僚が全身を強く打つなどして病院に搬送されたが死亡した。

事故後、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.15ミリグラム以上のアルコールが検出されたため、当該トラック運転者は、自動車運転過失傷害及び道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。

当該トラック運転者は、「酒を飲んで事故を起こしたことは間違いない。」と容疑を認めている模様。

(10)トラック運転者の酒気帯び運転による事故2

7月17日午前7時50頃、千葉県において、トラックが道路脇のフェンスに衝突した。

この事故による負傷者はなかった。

当該トラックは、この衝突事故の前に、乗用車と接触事故を起こし、当該乗用車に追われていた模様。

また、当該トラックの運転者は、通報で駆けつけた警察官に対して、自ら飲酒運転であることを告げ、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。(アルコールの検出量は不明)

さらに、当該トラックの運転者は、事業用自動車を自宅に持ち帰っており、事故は自宅から出発した後に発生した模様。

(11)トラックがマイクロバスと衝突した事故

7月20日午後5時5分頃、北海道のトンネル(片側1車線)内において、トラックが対向車線にはみ出したことによりマイクロバス(自家用)と正面衝突

し、更にマイクロバスの後ろを走行していたR V車がこのマイクロバスに追突した。

この事故により、正面衝突したトラックとマイクロバス双方の運転者が死亡したほか、マイクロバスに乗車していた35名と追突したR V車に乗車していた3名の計38名のうち1名が重傷、37名が軽傷を負った。

なお、当該マイクロバスの定員は29名であり、定員オーバーだった模様。

【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】

発行 国土交通省自動車交通局安全政策課

*このメルマガについてのご意見は、<jiko-antai@mlit.go.jp>までお寄せください。

よくある質問（配信登録の解除方法等）

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/faq.html> ）

自動車交通局ホームページ

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html> ）